

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの語源です。

議会だより

第70号

2013年2月5日発行

12月定例会

一般質問に4議員が登壇 ⑤～⑧

議長年頭あいさつ ②

こんなことが決まりました ③～④

決算審査Q & A ⑨～⑩

行政報告 ⑪

臨時会・Topic議会 ⑫



▲「おいしいね」子供たちの笑顔がいっぱいのお昼ご飯

新春を迎えて

和寒町議会議長 塚崎 正

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい平成二十五年の新春を、ご家族お揃いで迎えできましたことを心からお慶び申し上げます。

皆様方には日頃から議会活動にご理解とご協力をいただき、議員一同、心から深く感謝を致しております。

昨年を振り返りますと、基幹産業の農業においては、長雨・集中豪雨などの天候不順に見舞われ、作物全般の収量や品質に被害が及ぶ結果となりました。また、農産物の市場価格の低調は、農家経済に極めて厳しいものと憂慮しているところであります。

新エネルギーの関係で、木質バイオマスエネルギー事業が本格的に始動しました。稼働については懸念を抱く声もありまし

たが、雇用の創出とともに適正な町有林事業の推進により、環境に配慮された新事業として期待をしているところです。

介護保険料増加の抑制や医療費無料化の拡大、更には、光回線の導入に向けた動きやTVhデジタル放送の始動など、身近な生活の変化もありました。今後も町民の皆様にとって、利便性が向上するよう環境整備がされていくことを望むものであります。

社会がめまぐるしく変化化する中で、昨年末に発足した新政権には大きな期待をするところであり、地方の活性化とともに、和寒町の少子高齢化や福祉、教育、産業の振興、生活環境整備の推進などに議員一同一丸となって努めてまいります。

町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、新春のご挨拶といたします。



本年もよろしくお願い申し上げます



議長 塚崎 正

副議長 中原 浩一

総務福祉常任委員会

委員長 兼丸 昇

副委員長 中道眞佐義

委員 塚崎 正

委員 酒向 勤

委員 下條 美恵

産業教育常任委員会

委員長 佐々木 広行

副委員長 蛇川 政義

委員 中原 浩一

委員 石田 利美

委員 金谷 浩幸

議会運営委員会

委員長 酒向 勤

副委員長 金谷 浩幸

委員 中原 浩一

委員 中道眞佐義

議会広報委員会

委員長 酒向 勤

副委員長 下條 美恵

委員 中原 浩一

委員 中道眞佐義

委員 金谷 浩幸

和寒・剣淵のエゾシカなど
有害鳥獣焼却施設の稼働へ

12月定例議会

12月定例議会（第4回定例会）は、平成24年12月19日から20日まで開催され、条例改正や補正予算などが審議されました。

補正予算

主な補正額は下表のとおりです。

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

基盤整備事業の国の定額助成に加え、町単独の補てんをするための経費として増額。

また、有害鳥獣焼却施設の維持管理等の経費としての増額などが可決されています。

【国民健康保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

平成23年度の療養給付費等負担金の精算に伴い、返還が生じるため増額補正が可決されました。

人事

【固定資産評価審査委員会委員の選任】

（全員賛成同意）

辞任された、青塚一雄氏の後任として、三笠の長谷川謙一氏を選任することに同意しました。

任期は残任期間の平成25年1月1日から平成26年9月末までです。



長谷川 謙一 氏

※ 1万円未満切り捨て表記

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	46億3,548万	2,006万	46億5,554万
主な増減内容 (100万円以上の増減を抜粋)	○障がい者自立支援給付費		534万
	○災害障がい見舞金		250万
	○農業体質強化基盤整備促進事業補助		860万
	○有害鳥獣焼却施設関係経費		206万
国民健康保険特別会計	6億3,270万	425万	6億3,695万
増減内容	○療養給付費等負担金過年度分返還金 他		

条例など

【和寒町有害鳥獣焼却施設設置条例の制定】

（全員賛成可決）

和寒町・剣淵町の区域内で駆除等がされた有害鳥獣（エゾシカ・アライグマ等）を焼却処理する施設の設置条例が制定されました。

【和寒町議会会議条例の一部改正】

（全員賛成可決）

地方自治法において、本会議における公聴会、参考人制度の導入などの改正があったことから、条文の追加及び整理をするため条例を一部改正しました。

【議会等に出頭する者及び公聴会に参加する者の費用弁償に関する条例の全部改正】

（全員賛成可決）

地方自治法において、公聴会参加者等に対する

実費弁償に関する規定が改正され、本会議の公聴会参加者等が対象に加えられることから、文言整理のため全文を改正しました。

【和寒町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

当該医療費の助成においては、独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づく災害共済給付を優先させ、重複しての給付とならないよう文言整理の改正をしました。

【わっさむ健やかこども医療費助成に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

右記の重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例と同様に、重複しての給付とならないように条文を新設する改正をしました。

【公の施設の指定管理者の指定】

（1名除斥）

（全員賛成可決）

指定管理者の指定については表のとおりです。当該施設の5年間の指定期間が平成25年3月末で満了を迎えるため、指定管理者として改めて指定をし、管理運営を移行することになります。

名 称	和寒町特別養護老人ホーム芳生苑 和寒町短期入所サービスセンター芳生苑 和寒町老人デイサービスセンター健楽苑
指定管理者	社会福祉法人和寒町社会福祉協議会 会長 鷲見孝和
指定の期間	平成25年4月1日から平成30年3月31日まで

審査報告

兼丸昇決算審査特別委員長から委員会審査の報告がなされ、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定されました。

また、決算認定に伴い、病院事業会計の未処理欠損金の処理についても可決されました。

決算審査特別委員会の内容は、9～10ページの「Q&A」をご覧ください。



※公聴会って？

・予算などの特定の重要事案に対して、利害関係者など外部の意見を聞く制度。

※参考人制度って？

・議案に直結しない所管事務調査等でも広く意見を求めることができるように設けられた制度。公聴会より簡易的な手続きで行うことができる。

兼丸昇議員



問 結論を急ごう どうする防災無線

答 一日も早く解決したい

問 懸案事項の処理は

答 出来るところから早急に

問 土別ハイヤーの夜間運行を

答 3月までは体制を整備、その後は継続を要請

全戸に戸別受信機
早急な更新配備を

東日本大震災以来災害への対策が迫られており、避難所整備や、災害対応装備、備品、「緊急持ち出し袋」の配布、啓蒙で一応災害に対応する体制はできつつあると考える。

昭和62年和寒町農村情報、防災行政無線施設として、農事気象、生活等の農村情報及び緊急、災害時の通報等の確な伝達を図る目的から農業者を中心に戸別受信機の設置、市街地域には放送塔での情報伝達がなされてきた。

防災無線施設も25年が経過、設置以来戸別受信機等の苦情は少ないが、市街地域での放送塔からの音声が届きにくいとの苦情は、設置以来続いている。

町政懇談会の中でも改善してほしいと苦情が続いているが、行政

の答えは、農協とも相談して検討するという答えばかりで、その場しのぎの答えにしか見えない。

早急に戸別受信機の新設更新配備を考えるべきでは。

伊藤町長

本町の防災無線は市街地区ではスピーカーからの音声が届き取りにくいとの指摘があり、技術的には抜本的な解決策がなく今日に至っている。

受信機の購入助成も農家以外の家庭で1台4万円のうち1万円の助成を行い累計103台となった。その後、希望者の減少により補助制度を廃止した。

現在低額で受信能力の良いものを調査研究している。

全戸に受信機を配備するには、相当の経費がかかる。

これからの時代は双

方向からやり取りができる情報施設と考え、今後防災無線はどうあるべきか考えたい。

○再質問

放送内容をもう一度聞きたいという、町政懇談会の要望への対応策は。

償却が5年位の受信機では、もう使用25年は限界では。

近郊自治体でも色々な取り組みがされており、過去の経過からもういつときの猶予も許されない。早急に結論を出してほしい。



▲防災無線の放送設備

伊藤町長

今後の方向として、やることすれば全戸に同じものが必要だろうと考える。

一番良い方法はどれか、もつしばらく時間を頂きたい。

懸案事項の

処理回答は

議員等、または町政懇談会での答弁の中では、「前向きに検討する」で終わっている回答が多々あるが、懸案事項の問題点、回答をどう処理し、報告しようとしているのか。

伊藤町長

即答できない案件が多々あることも事実だが、実現可能なものが、和寒町としてどう進めなければならぬか、他の機関との関わり調整はどうかを考え、出来るものから取り組んでいる。

土別ハイヤーの
夜間運行を

土別ハイヤーの和寒での運行は基本的には午前8時から午後8時までで、季節により金・土曜日は午後10時までと聞いており、夜間の乗務員も募集している。

高齢者や交通弱者にはどうしても必要な運行であり、旭川、名寄間の道北バス運行にも町として距離割負担があるように、土別ハイヤーの夜間運行については、負担も考慮し、夜間の継続運行される様に、努力していただきたい。

伊藤町長

12月から3月まで月曜から土曜日の夜間午後6時から11時まで和寒営業所に1名常駐することのこと。

その後の運行についても継続されるようお願いしていきたい。

問 本町の節電対策と大規模な停電対応策は

答 ウォームビズの推進や室温の適正管理などで対応
各施設の役割を明確にしたうえで必要な資機材の確保



佐々木広行議員

問 学校教育問題については

答 「いじめ」3年間で9件いずれも早期解決

節電の取り組みや 停電時の対策は

昨年度東日本大震災に端を発し、都市圏などにおける電力の使用制限を通じて、電気は私たちの暮らしや産業を支える重要なエネルギーであることを再認識したところである。

これらの諸情勢から北海道では12月10日より3月8日まで節電7%以上を実施すると報道があった。また今年の11月27日記録的な暴風雪で送電用鉄塔の倒壊により大規模な停電が発生した。

室蘭市病院では外来の受付を中止し、自家発電施設により院内電気の供給がされ対応した。これらを踏まえ左記の事項について質問する。

①本町の節電対策は。
②大規模な停電など発生した場合の公共施設などでの対応策は。

伊藤町長

町の各施設では計画期間を早め、12月1日から節電に取り組んでいる。

具体的には、夏季の節電対策の実績を踏まえ、電力消費の大きい業務を消費の少ない時間帯に行う、さらには蛍光灯の点灯本数の削減やパソコンの細やかなオン・オフなど日常の小さな節電の積み上げ、さらにウォームビズの推進や室温の適正管理を進めることで、北海道電力が要請している7%以上の節電を達成する方針である。

大規模な停電時の対応策は、各施設の業務を維持することのほか、避難所としての役割を担う施設もあり、1年を通して一番心配される冬季の災害を想定すると、電気を使わない暖房機器の手当や非常用電源の整備など積雪寒冷期に対応できる資機

材の確保が必要であることから、各施設の役割を明確にしたうえで、確保に向けて進める。

日常起こりうる停電に対しては、各施設の主たる業務に支障をきたさないよう必要最低限の発電機を手当するようコミュニケーションしているところだ。

特に町民の生命を預かっている町立病院では、大型蓄電池を備えており人工呼吸器など、停止することのできない医療機器の電気を1日程度確保することができ、その他小型発電機3台により入院患者に対応することとしている。



▲病院に備え付けの大型蓄電池

学校教育問題は

大津市の中学生自殺問題を受け、文部科学省が全国の小中学校を対象に行った「いじめ」緊急調査で、4月から9月までの「いじめ」認知件数がまとまった。

文科省調査では半分で昨年を超える「いじめ」があり、このうち子どもの生命や身体を脅かす恐れのある重大事案は約250件あるとまとめている。

本町は、「いじめ」など問題は発生していないのか、またこれらの対応方法についての考え方を伺いたい。

浜田教育委員長

いじめる側の大きな要因の一つとして「ストレス」が挙げられる。ストレスのはけ口として「身体的攻撃や言葉による精神的追い込み」となる。こうした子どもたちをつくらな

いたためには、家庭や学校、地域で子ども達一人一人の話に耳を傾け、思いやり、いたわりの心を持ったやさしい子どもを育てなければならぬ。

教育委員会は、委員が交代で毎月一回の教育相談日を設けて、気軽に相談できる環境づくりに取り組んでいる。

星教育長

本町の実態については、平成22年度以降小学校で4件、中学校で5件発生している。これらはその都度、実態を把握し早期に解決している。重大案件となるようなものはない。

「いじめ」のない環境づくりや防止策について、常に学校管理者や教育委員会で議論を深めながら、共通認識をもって対応している。

下條美恵議員



問「恵の大地と共生するうるおいのまちづくり」計画の現状と今後は

答 橋は平成26年度から維持補修に取り組む 除排雪の安全確保に努める

橋の安全点検は

国内外では建設中や建設間もない橋の崩落事故が発生している。

町の第5次総合計画の中に橋の維持管理については明記されていない。老朽化したというだけでなく、想定外のこと起きうることもある。

町が管理している橋の設置及び点検状況は、

伊藤町長

管理橋梁数は183あり、橋長100m以上の長大橋は2橋、15m未満が132橋で全体の約7割を占めている。また経過年数は50年以上が3橋、30年から50年が108橋あり、全体の6割を占めている。

点検は日常的に道路パトロールにおいて、橋梁の傾斜や沈下、異音発生状況を確認している。定期点検として、

平成21年度と23年度の2ヶ年で全橋を実施した。その結果ほとんどの橋梁で健全度が高いとの評価になったが、数橋は補修が必要なものもあり、本年度から2ヶ年で「橋梁長寿命化修繕計画」の策定を進め、平成26年度から維持補修に取り組む。

○再質問

50年前に架けた橋は、今のトラックの総重量を想定したものなのか。

菊地建設課長

50年以上経った橋も、道路橋示方書に則って今も荷重は同じである。



▲50年以上経過した橋(東和三号橋)

除雪作業の課題は

今年は初雪と同時に根雪となり、異常な低気圧に伴い風雪被害が各地で発生している。

例年除排雪の苦情が寄せられているが、それらの課題は今後どのように解決するのか。

伊藤町長

例年になく積雪の多さに伴い、昨年より1週間早く排雪作業を実施した。排雪作業時の車道への雪出しは、作業車への接近となり危険なこと。安全に効率的に行えるよう、交通整理員の適正な配置など安全確保に努めている。

○再質問

町の中心である駅前通りの幌加内線と鷹栖線が交差する5又路は、夏は停止線のある道路だと認識しているが、その道路に高く雪が堆

積されている。

交通の安全が保たれていない状況にあると思うが、町ではそれを良いとしているのか。

菊地建設課長

5又路の道路管理は北海道で、管轄は公安委員会である。道道の鷹栖線と幌加内線が集まるところで、道道の雪は町道の方に置けないので真ん中に置けないようである。

道路に堆積することは、公安委員会と打ち合わせた中で話ができていると思うので、町の方で良いとか悪いとか話したことはない。

○再質問

雪山が大きくなると、鷹栖線からの出入りでどちらを通った方がいいのか分からない状況になる。

除雪の度に排雪してもらえないよう要請できないのか。

伊藤町長

確かに鷹栖線の側から来る方は戸惑いがあると思う。

道も維持管理費が減らされている状況にあり、現状としてはできないのが実情だろうと思うが、除排雪を委託している土現の方でできる限り雪山を作らないよう申し入れている。



▲5又路に堆積された雪の状況

石田利美議員



問 パークゴルフ場の増設と整備は 答 平成25年度に暗渠等を実施予定

パークゴルフ場の増設する考えは

総合運動広場パークゴルフ場と三笠山自然公園パークゴルフ場の2ヶ所があり、パークゴルフ愛好者や多くの市民が楽しんでいる。

新たにパークゴルフ場を増設し、スポーツの振興や推進を図っては。

星教育長

パークゴルフ場の設置については、当時老若男女問わず楽しめるスポーツとして、多くの市民の皆さんから要望があり、運動広場はSPゴルフと併用のコースとし、更に三笠山自然公園の整備に伴い三笠山自然公園コースを増設した。

両コースとも、これまで多くの皆様に利用していただいている。質問のパークゴルフ場を新たに造成しては

どうかということだが、新たに造成するためには場所の確保や面積の確保、あるいは緊急性において難しいものがあると思う。

今後、関係機関や団体等とも検討していきたい。

○再質問

カントリーエレベーターの南側に空いている敷地があるが、そこに公認コースを視野に入れた、新しいパークゴルフ場を増設しては。

星教育長

カントリーエレベーターの空き地が約1万3680平方メートルの面積がある。

パークゴルフのルールブックでは、設置基準が1万2000平方メートル以上あれば良いとなっているが、ギリギリの面積。

総合運動公園パークゴルフ場のコースと、

道路を挟んでのカントリーエレベーター南側の空き地のコースと合わせて36ホールになったからといって、公認コースになるのかどうかも検証しなければならない。

意見等を反映した整備は

整備は

体育協会が平成20年から指定管理者として管理運営して5年が経過し、芝の長さ、雨の後の水たまりなど、パークゴルフ場の管理運営に係わる課題や反省があると思う。

今までの意見や要望をどのように反映していくのか。

星教育長

芝の状態や排水に問題があり、今までも意見や要望については、出来ることから対応してきている。

今年の夏にかけては

特に芝の管理について指摘を受けており、大変迷惑をかけた部分があったと思う。

秋口には、専門業者のアドバイスを受け問題解決に取り組んできたところである。

○再質問

三笠山自然公園パークゴルフ場は、平成14年にオープンしてから10年が経過し、通路・芝・雨の後のぬかるみなど、状態が非常に悪いと思う。

芝の張り替え・散水施設・暗渠など全面的に改修しては。

星教育長

全面的な改修は考えていないが、平成25年度に向けては暗渠整備等について検討しており、状態のひどい2カ所を実施をしていきたい。

今後も指定管理者と連携を図りながらコースの適正な管理に努めていく。



▲多くの市民がプレーを楽しんでいるパークゴルフ場

～住みよい町づくりに願いをこめて～

決算審査特別委員会報告

平成23年度の病院事業会計、一般会計、5特別会計の決算は、平成24年11月15日～16日の2日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く8名で構成された決算審査特別委員会（兼九昇委員長・中道眞佐義副委員長）で慎重に審議されました。

町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

平成23年度 各会計決算状況

※ 1万円未満切り捨て表記

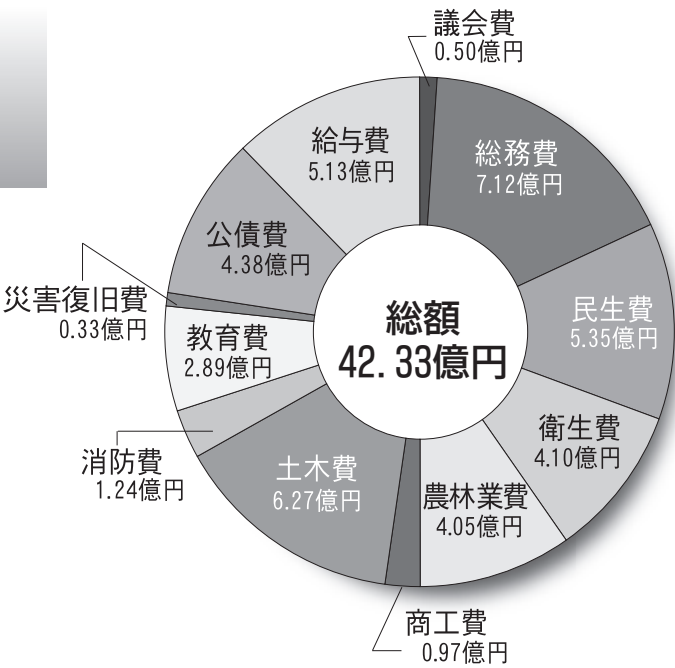
区 分 会 計 別		A	B	C	(B - C) D
		予 算 額	収 入 額	支 出 額	差引残額
一 般 会 計		43億7,339万	43億 943万	42億3,388万	7,555万
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		6億7,692万	6億8,693万	6億3,709万	4,984万
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計		7,413万	7,226万	7,097万	129万
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		1億4,810万	1億4,653万	1億4,423万	229万
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		5,286万	5,268万	5,146万	122万
介護保険 特別会計	保 険 事 業 勘 定	4億9,214万	4億7,394万	4億6,678万	715万
	介護サービス事業勘定	1,638万	1,762万	1,607万	154万
合 計		58億3,394万	57億5,943万	56億2,052万	1億3,890万

注：切り捨て表示をしているため、計算した場合と表記の数字とは異なる場合があります。

町立和寒病院事業会計	収益的収入	4億5,534万	収益的支出	4億5,476万
	資本的収入	829万	資本的支出	2,063万

町民1人当たり
一般会計決算の使い道
約 110万4,500円

議会費	1万3,144円	1.19%
総務費	18万5,627円	16.81%
民生費	13万9,491円	12.63%
衛生費	10万7,021円	9.69%
農林業費	10万5,693円	9.57%
商工費	2万5,233円	2.28%
土木費	16万3,645円	14.81%
消防費	3万2,330円	2.93%
教育費	7万5,317円	6.82%
災害復旧費	8,557円	0.77%
公債費	11万4,435円	10.36%
給与費	13万4,093円	12.14%



決算審査

Q & A

Q 省エネルギー促進支援事業を起こすことで経済効果はどのように受け止めているか。地球温暖化防止に向けて、この事業が和寒町でどのように位置付けされているのか。

A 住宅改修は町内業者が4割程度を占めており、経済効果は少ない。太陽光、ストーブは1年間の状況報告をいただいている。売電と使用分を換算すると1kwで4万円の電気料の節電となっている。設置者は節電を考えるようになった。省エネの取り組みを行っている。そのような意識の変化も事業効果として現れている。

Q ホームページアクセスカウンター件数、更新の頻度はどうなっているか。

A 再構築により特別なソフトがなくても更新できるようにし、各部署で更新している。

月平均数

	アクセス数 (閲覧件数)	更新頻度
旧	4,500～4,600件	5～6回
新	6,300～6,400件	約20回

Q 認知症高齢者の数の変遷はどうか。

A 全体的な数は増加している。

具体的な認知症の有無については、明らかな場合をのぞいて些細

な問題だけに判断が難しい。

認知度という項目を絞って、第5期計画策定時に調査したときには年々増加している傾向にあった。



Q 乳幼児医療費の実人数は。

また、町内外の利用率の把握を知りたい。

A 乳幼児および小中学生あわせて約400名程度の対象者に対し、どの位の利用があったかは把握していない。

乳幼児については町外医療機関利用が76%程度、小中学生については町内が69%で歯科や調剤に関しては89%程度となっている。

Q 暗渠・道路工事が行われているが、町の発注が多いため業者は手が回らず、なかなか工事が執行されていないがどういう状況か。

A 雨が多く、現場が思ったとおりに進まなかった。また、道の工事が遅れているという現状もある。

地域貢献ということもあり、建設課を通して調査をしている。

Q 農地・水環境保全対策事業で町が5年間でどのくらいの金額を支出し、どういう成果があったのか。

A 総額1億5400万円程の支出となっている。

今まで個々に取り組んでいたものを地域で一体的に活動していくということがある程度できたと思っている。

Q 有害鳥獣の捕獲場所の傾向は。

また、道が禁猟区にしている理由を聞いたことがあるか。

A 各地区で統計を取っているが、東側の方が多く、山際の東と西がほとんどを占めている。町内に禁猟区はない。鳥獣保護区として幌加内町との境にある。

Q 学校給食では、地場産品がどの程度利用されているのか。

A ふるさと給食として季節感のある地場産の素材を使い、年間6回程度実施している。

米は土別管内の物が使用されているが、一昨年には和寒産のカボチャペーストを使用したスープを提供したことがある。

行政報告

産業振興

長雨や集中豪雨による

作柄の状況

水稻は上川管内の作況指数が106の良となったが、くず米が多かったため今年の米の集荷状況は11月末現在、8万6073俵で、前年対比4356俵の減となりました。米穀類乾燥調製貯蔵施設（米工房・天塩の大地）への集荷は、5万3778俵、町全体の62・5%を受入れた状況です。畑作では、小麦が収量減と品質の低下を招きましたが、その他の作物は平年並みの作柄となりました。

新エネルギー

燃料製造施設及び熱源供給施設を、第6回臨時会において工事請負契約の議決をいただき、来年3月の竣工を目指して工事を進めています。

土地改良事業

農業体質強化基盤整備

促進事業は、計画した暗渠7工事のうち5工事が既に完了し、冬暗渠2工事が施工中ですが、農業者への負担軽減対策として10アール当たり8500円を上限として、必要額の補正予算を計上しました。



有害鳥獣捕獲

奨励補助事業

12月13日現在で88頭のエゾシカが駆除されており、有害鳥獣焼却施設は平成25年2月の竣工を目指し工事を進めています。

商工業活性化

「わつさむ活活プレミアム商品券」を、商工会

並びにJA北ひびきの協力のもと、12月3日から販売を開始しており、町内の消費拡大が図られ、商工業の活性化に繋がるよう期待しているところです。

住民

保養センター

11月から日本の名湯めぐりを実施し、町民の皆さんに薬湯による健康づくりを楽しんでいただき、11月末現在で昨年と比べ約77%、1300人多い利用となっており、今後とも利用者に喜ばれる施設運営に努めます。

建設

町道バリアフリー化

今年計画した8工事1600メートルの改修をすでに終えたところであり、今後とも交通弱者に配

慮した安全安心の確保に努めます。

公共下水道事業

下水終末処理場が築25年を経過し、老朽化に伴う管理棟・水処理棟の外壁改修及び屋根防水改修を実施したところです。

総務

TVh中継基地

TVh（テレビ北海道）放送は、和寒中継局の整備を終え10月30日に開局し、多くのご家庭で視聴していただけるようになり、西和サテライト局も現在整備中ですが、1月21日の正式開局を目指しているところです。

保健福祉

保育所

6月から進めてきた保育所の耐震等改修工事は、5ヶ月におよぶ工事となりましたが、11月末無事に完成しました。

特定健診・特定保健指導

11月末現在で、集団・個別健診等受診者数は716名、受診率にして65・6%となりました。保健指導対象者には個別指導を順次実施します。

教 育

第50回記念町民文化祭

11月4日に行われた芸能発表では、新しい装いによる稚児舞が披露されるなど50回記念にふさわしい華やかな町民文化祭になりました。

東山スキー場

計画していたリフト改修工事も終了し、今シーズンも多くのスキーヤーに利用していただけるよう期待するとともに、事故のない安全で楽しいスキー場となるよう、指定管理者と連携を図りながら適切な運営に努めてまいります。

1月25日開催

第1回町議会臨時会

【和寒町木質バイオマス燃料製造施設設置条例の制定】

(全員賛成可決)

間伐材などの森林資源をエネルギー源として有効利用することを目的とした燃料製造施設を設置し、管理運営を指定管理者に行わせることができる条例を制定しました。

あなたの声を議会広報に

議会広報委員会では、町民の皆さんからの、ご意見・ご要望などをお待ちしております。

お寄せいただいた意見等は委員会で検討し、紙面に反映していきたいと思っております。

詳しくは議会事務局まで
(電話 32-2436)



上川管内町村議会議員研修会に参加

11月5日に旭川市で開催された上川管内町村議会議員研修会に参加してきました。

はじめに、「北海道農業の展望」と題し、株式会社農業技術通信社代表取締役の昆吉則(こんきちのり)氏の講演を受け、その後、「地方財政の現状と課題」と題し、北海道総務部財政課長の今井太志(いまい ふとし)氏の講演を受けました。

上川北部市町村議会議長会定例会

1月22日に活性化センターにおいて、和寒以北の9市町村の議長で構成される上川北部市町村議会議長会(1月定例会)が開催され、議長・副議長が出席しました。

定例会としての協議事項や情報交換の後、活性化センター職員からポカボチャと越冬キャベツをテーマにした説明があり、土壌分析室の見学も行われました。



編集後記

月日が経つのは早いもので、新年が明けてから1ヶ月が過ぎましたが、本年もよろしく願います。本年は巳年、「巳」を動物にあてはめると「蛇」になります。蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させるそうです。過去の巳年を見てみると24年前に消費税が導入され、12年前には第1次小泉内閣が発足、さて今年は?

我々国民は震災後の復興と、安心して生活する事が出来るようになるための経済再生を望んでいます。復活内閣はどういう舵取りをしてくれるのか、くれぐれも「蛇の生殺し」だけは勘弁して頂きたいものです。

(浩幸)